

3. 商業ビジョンの基本方針

～広域商業拠点としての地区イメージ～

抽出された課題を踏まえて、商業ビジョンを策定するに当たり、基本コンセプトである広域商業拠点としての地区イメージを次のようにまとめました。

～レトロとオシャレの モザイクのまちを目指して～

「レトロ」、「オシャレ」、「モザイク」という言葉の意味は次のように整理されます。

- 新しい商業施設の「オシャレ」と地域に密着した商店街の「レトロ」
- 再開発に伴う外部から持ち込まれた「オシャレ」と地域資源を生かした「レトロ」
- 新しい課題（環境配慮・情報化・利便性等）に対応した「オシャレ」と従来からの地域コミュニティの核（安全安心・子育て及び高齢者支援等）としての「レトロ」
- 新しい商業施設と地元商店街が共存する「モザイク」
- 新しい時代感覚に溢れた魅力と地域資源（自然・歴史・文化等）が生み出す魅力が融合する「モザイク」
- 新しい住民及び来街者と地元住民が触れ合う「モザイク」

すなわち、P 23にまとめた商業ビジョンの3つの課題と関連付けて整理すると、次のようにまとめられます。

- ① 『地域課題の解決』を実現するため、地域に密着し、地域資源を生かし、地域コミュニティの核としての機能を果たす「レトロ」
- ② 『新しい商業施設との共存』を実現するため、新しい課題、新しい価値観、新しい住民に対応する「オシャレ」
- ③ 『再開発に伴う魅力ある商業拠点の形成』を実現するため、「レトロ」と「オシャレ」の2つの要素が出会い、混在する「モザイク」

次に、商業ビジョンがめざすこの『レトロとオシャレのモザイクのまち』は、どのようにすれば実現されるのか、その方向性について検討します。